

令和5年度「高校生等防災教育基礎講座」実施状況

1. 実施概要

令和5年度は、県立高等学校2校、市立高等学校1校、私立高等学校1校、特別支援学校2校の計6校で、実施しました。

内容は、防災に関する講演（講師派遣）を基本とし、加えて模擬体験を実施しました。



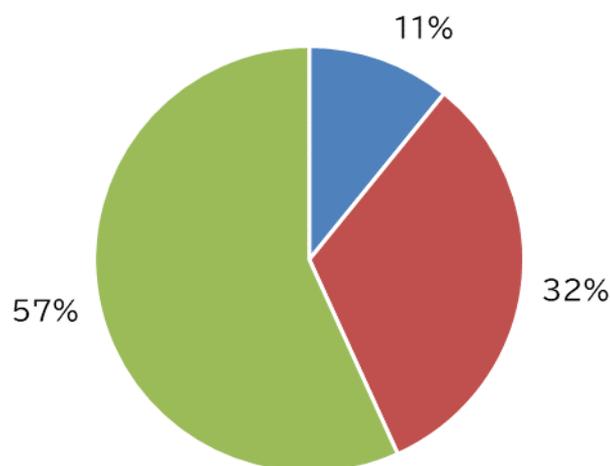
【実施校】

No.	実施日時	実施校・生徒数	演題・講師
1	5月25日(木) 9:40~13:50	県立千葉特別支援学校 (高等部)	「特別支援学校の生徒が理解できる防災への取組・心得について」 地震防災アドバイザー 川端 信正 氏
2	9月4日(月) 8:55~9:45	東海大学付属市原望洋高等学校 (全学年)	「台風を中心とした、災害時における対応力を高められる講義」 減災・福祉パートナーズ 蓮本 浩介 氏
3	9月7日(木) 13:30~15:20	県立沼南高等学校 (全学年)	「東葛飾区の地域の特徴を踏まえた発災時の基本的な対処方法に関する講義」 千葉科学大学 藤本 一雄 氏 ※起震車体験を実施
4	10月12日(木) 17:45~19:20	県立東金高等学校定時制 (全学年)	「高校生ができる防災への取り組み・心得」 減災・福祉パートナーズ 蓮本 浩介 氏 ※起震車・煙体験を実施
5	11月30日(木) 14:30~15:10	松戸市立松戸高等学校 (全学年)	「地震対策を中心とした高校生ができる防災への取り組みに関する講義」 千葉科学大学 藤本 一雄 氏
6	12月21日(木) 10:15~11:40	県立市川特別支援学校 (高等部)	「避難時の留意事項や避難生活の事例を交えた講演」 減災・福祉パートナーズ 蓮本 浩介 氏

1. アンケート結果

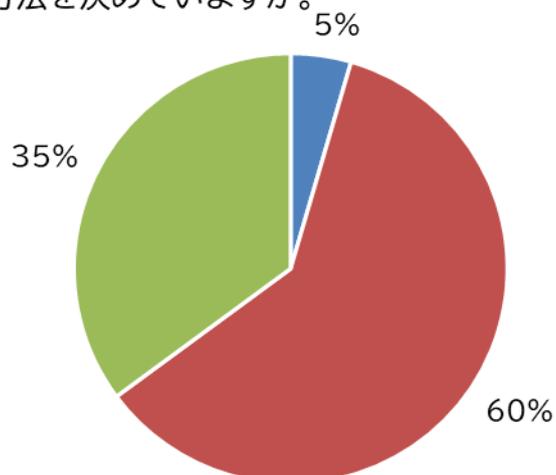
「高校生等防災教育基礎講座」の参加者に対して、日常からの防災対策及び東日本大震災後の災害に対する意識を問うアンケートを実施しました。

(1)あなたの家庭では、寝ている時に地震が起こった場合、体の上にもものが倒れてきたり落ちてきたりする危険はありますか。



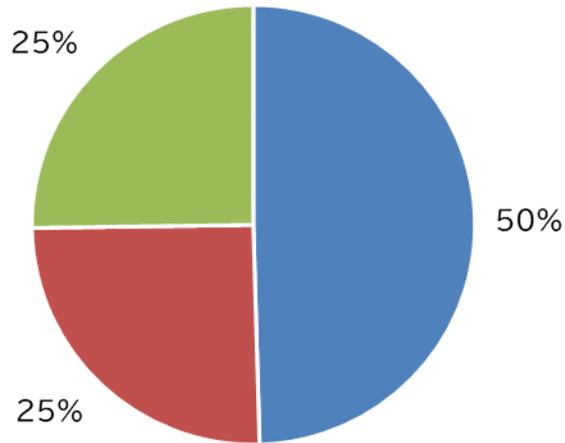
- A 家具などは固定しており、安全である。
- B 家具などは固定しておらず、危険がある。
- C ものが倒れたり落ちたりしても安全な場所に寝ている。

(2)東日本大震災の起きた当日は、各交通機関が止まり、遠くから通学している人は帰宅困難になりました。また、電話も通話が集中し、つながりにくくなりました。家族と離れている時に災害が起きた場合、集合場所や連絡方法を決めていますか。



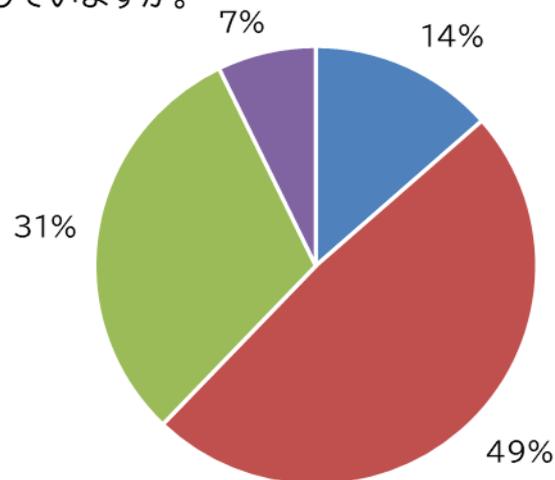
- A 集合場所も連絡方法も、どちらも決めている。
- B 集合場所も連絡方法も、どちらも特に決めていない。
- C 集合場所か連絡方法の、どちらかだけを決めている。

(3)東日本大震災のように、大災害時にあなたの家族が被災するのと同様に、自治体なども被災し、すぐには公的機関からの救援が望めない場合があります。あなたの家庭では、災害に備えて水や食料などの非常品を用意していますか。



■ A 用意している。 ■ B 用意していない。 ■ C わからない。

(4)近年、大地震や記録的な大雨・台風による被害が多発しています。あなたは、自分の住んでいる地域で、大地震や風水害が起こるのではないかと不安を感じていますか。



■ A 強く感じている。 ■ B 少し感じている。
■ C ほとんど感じていない。 ■ D わからない。

(5) 本日の講座についての感想を書いてください。(主な回答)

- ・災害はいつか必ず起きること、自分事として考える必要があると感じた。自分の身だけでなく周りの人のことも考えるべきだと思った。
- ・災害の怖さやハザードマップの大切さ、自助についてよく学びました。
- ・自分の家ではあまり災害対策をしていないので、今日の話聞いて家族と話し合っ決めてたいと思いました。
- ・災害時は他の人に任せたりするのではなく、自分が行動しようと心がけることが大切だと思った。守りたい人は自分で守る。
- ・地震は起こらないのが一番だけど、人間に止めることはできないから、万が一あったら今日のことを活かしたいと思う。
- ・非常品の準備はしていたけど、集合場所は決めていなかったの、家族で決めていざという時に備えて行動していきたい。
- ・自然災害はいつくるかわからないので、いつ来てもいいように日頃から準備をし、しっかりとした対策をしていきたいと思う。
- ・東日本大震災の時の記憶はなく、大きな災害が起きた時の対処の仕方についてあまり考えたことがなかったけど、今日話を聞いて改めて対策や行動について考える必要があると思った。
- ・講座を開いて家族と災害時のことについて話し合おうと思った。家の方は津波の心配はないけれど、地震の対策はしていきたいと思った。
- ・今日住んでいる地域の避難の仕方はある程度分かっているが、今後暮らしをしたときに全く分からないので、調べるなどしたい。未来の自分が後悔しないように、日々感謝を伝えたいと思った。
- ・確かに避難後の備えはできていて、避難に対する備えができていなかったの、家族と話してみようと思った。
- ・いつ起こるのかわからないからこそ、後悔しない行動ができるように備えておきたいと思った。
- ・人を助けることも大切だけど、まずは自分を助けることが大切と知れたいい機会だった。
- ・後悔しないように日頃から対策をしようと思った。
- ・避難方法を家族と話し合う。ハザードマップを見る。
- ・災害がおこる前に備える大事さを再確認でき、自分もこれから意識をして生活しようと思いました。
- ・色々なことに備えることはとても大事だし、実際におきた時にうまく行動ができるかも大事だと改めて思いました。
- ・学校でこういうためになる講座を開いてくれるのはすごく助かります。いざ災害が起きた時に役立てようと思う。
- ・実際に災害がおきているが、自分は経験がないから、目の前で災害が起きないと分からない気持ちがこわい。
- ・何かしら地震に備えておきたいと思いました。